



**腰痛改善 臨床編**

**その 5**



## ❖はじめに

### 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。  
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

## もくじ

- 1 : 動きだしに鋭い痛みがある腰痛..... 4
- 2 : 介護で痛めた腰痛だと思っていたら膝が原因だった！！..... 8
- 3 : 腰痛を治そうと前屈運動していたら悪化、原因はストレッチにあった。..... 11
- 4 : 腰痛の原因が暴飲暴食による太り過ぎであった。 . 15
- 5 : マッサージで治らなかった肩こりを鍼灸と整体で改善..... 19
- 6 : ストレスからきた腰痛の鍼灸治療..... 23
- 7 : 運動をすると腰痛のリスクが高くなる？..... 27
- 8 : 交通事故は、数年経ってから症状が現れる。..... 35
- 9 : 歩くときに左股関節が痛くて前に踏み出せない... 41
- 10 : 腰回りが固まって動かすと痛い..... 45

## ❖ 1 : 動きだしに鋭い痛みがある腰痛

50代 女性

2週間前に、家族の不幸があり、一段落したところで、急に腰痛が現れ、じっとしているところから動き出すと痛い。

しかし、動き始めると何とかなる。

普段は、じっとしていることが多いため、動き始める時に毎回鋭い痛みがあり、動くのが怖いとのこと。

仰向けやうつ伏せになると、腰が痛むため、横向きにしかできない。

そのため、横向きで治療を始める。

腹部と腰部のバランスが、非常に悪くなっている。

このバランスを取り戻すために、鍼で調整していく。

大分バランスが整ったところで、仰向けになってもらう。

いつもより楽になっているようだが、やはりこの姿勢はつらいらしい。

そこで、下腹部のある一点を強く押さえると、「えっ！！痛みが消えた。楽。不思議。」とビックリしている。

この一点は、横向きで治療を行っていた時に、ここが震源地だろうと思っていた場所。

そして、この反応。

やはり、原因は、大腰筋だった。

このような痛み方は、100%に近い確率で、大腰筋が原因である。

しかし、痛みは腰にあるため、なかなかお腹を治療しようとは考えにくいのだ。

だが、大腰筋は、お腹の深部にあり、腰からでは触れない位置にある、腰の重要な筋肉である。

この大腰筋を、緩めるように鍼を行い、立ち上がってもらくと、嘘のように速い動作で起き上がり、痛みもなくなっている。

この筋肉がもっと、分かりやすく治療しやすい位置に存在

してくれたら、これほどまでに腰痛で苦しむ人が増えずに済んだかもしれない。

しかし、この筋肉が現在の場所に存在しているおかげで、人間は二本脚で立っていられるのだ。

もっともっと、メジャーになっていてもおかしくない筋肉のはずが、治療家でも知らない人が多い。

それほど、人間の身体は、複雑にできているということなのかもしれない。

## ❖ 2 : 介護で痛めた腰痛だと思っていたら 膝が原因だった！！

60代 女性

数年前から、近所の方の介護をするようになり、徐々に腰が痛くなる。

近所の病院で、牽引と電気治療をしてもらい、大分楽にはなっているが、そこから先もっと楽にはならないようで、半分あきらめていたところ、家族から当院を紹介され来院。

まず、うつ伏せで背中全体をチェックすると、腰に複雑な歪みがある。

介護を行うときにいろんな体勢をしていたことが分かる。



まずは、この歪みを取り除くために、整体を行う。

複雑な歪みがあるにもかかわらず、筋肉の状態は、かなり柔らかさを持っている。

これは、現在も趣味でバレーボールをしていることが効いているのだろう。

従って、整体を行っていくと、どんどん歪みが取れていく。

ところが、横向きで左脚を操作しているときに、異常な抵抗感がある。

右側には全くなかった感じである。

そこで、左半身を細かくチェックしていくと、左膝の問題

にぶち当たった。

実は、20年以上も膝が痛くて正座ができないという大物が存在していたのだ。

いきなり、この膝を改善できるわけではないが、この膝の運動制限を取り除かなければ、腰痛は中途半端な改善しかできない。

そのため、鍼で、左脚と腰の連動性をつけるように操作した。

これで、立ち上がってもらおうと、腰はかなりスッキリしたとのこと。

しばらくは、腰を診ながらも、膝の治療が必要なようである。

### ❖ 3 :腰痛を治そうと前屈運動していたら悪化、原因はストレッチにあった。

30代 男性

最近、右腰が痛く、何をやっても治らなかったところ、前屈すると気持ちよく、痛みが少し和らぐ感じがする。このまま続ければ治るのではないかと思い、前屈をしすぎてしまい、右だけでなく腰全体に痛みが広がってしまい来院。

いまだに、前屈は楽に曲げられるらしいが、それ以外の動きでは痛みが出てしまうらしい。

まず、うつ伏せで全体を診てみると。

やはり、腰の筋肉は、しっかりストレッチされている。

しかし、腰を前にしか曲げていなかったため、肩やお尻の外側など、いろいろな筋肉が固くなっている。

そこで、腰以外の固い筋肉をほぐすような鍼を行う。

ほぼこの治療だけで症状がなくなった。

このように、疲れている場所をストレッチすると、気持ち良さは得られる。

しかし、やりすぎてしまうと、周りの筋肉とのバランスが取れなくなり、この患者さんのように痛みが出てしまうことも少なくない。

疲れやだるさ、軽い痛みがどこかにあり、それをストレッチでほぐそうと思った時、気をつけなければならないのはバランスである。

筋肉は、伸び縮みさせることで本来の働きができる。

そのため、つらい感覚のある筋肉がどのような状態にあったのか？

例えば、ずっと座っていて、立ち上がったら痛くなった場合の腰痛であれば、

まず、座っているときには、腰の筋肉は伸びていて、立ち上がると腰の筋肉は縮むように動く、ということになる。

従って、この場合の、伸ばす筋肉は、お腹側と両サイドの筋肉となる。

要は、長い時間、縮こまってしまった筋肉を伸ばしてあげることが重要なのである。

そのため、上体反らしやブリッジのような運動（お腹側を伸ばす）と、身体を横に倒したり捻ったりする運動（身体の側面の筋肉を伸ばす）を行うことで、腰回りのバランスを整えることができる。

ところが、腰が気になるから腰を伸ばそうと、前屈ばかりしてしまうから、痛みは強くなってしまうのだ。

身体というのは、素直なものなので、縮まったら伸ばす。

伸ばしていたら縮めてあげれば、大概の違和感は取れるものである。

## ❖ 4 :腰痛の原因が暴飲暴食による太り過ぎであった。

40代 男性

2か月ほど前に初めて来院し、今回で2度目の来院になる男性。

触った瞬間「ガクッ！！」

膝から崩れ落ちるかと思う位、ガッカリしてしまった。

それは、予想以上の太り方だったからである。

前回は、年末年始の暴飲暴食で、体重が増加したことによる腰痛だった。

そして、その時の対処方法として、体重を落とすか、体重に見合った筋力を付けるかということをご指導して終了した。

この患者さんの性格上、この二つを同時に実行することはまず考えられず、片方でさえ危ういだろうとは思っていたが・・・。

前回の治療直後は、非常に腰の調子が良かったため、安心して生きていたらしく、年末年始の勢いのまま食べ続け、まったく運動もしていなかったとのこと。

そのため、また腰が痛み出したらしいのである。

そして、身体は一回りさらに巨大化されていた。

その体重に、太ももの筋力がついていけず、腰だけに負担



が回ってしまい、腰痛を起こしているのだ。

従って、寝ていたり、座っていても痛みは出ない。

立ち上がった時、歩いた時にだけ痛みが出るのだ。

要は、脚で体重を支えきれない時だけの痛みである。

これは、痛みを止めても食欲が抑えられなければ、何の解決にもならない。

脈やツボの反応からも、胃の興奮がありありと伝わってくる。

これは、胃酸が出続けている証拠。

胃酸が出れば、食欲はわいてしまう。

そのため、胃の興奮を抑えるように鍼を行い、腰と太ももの筋力バランスを整え、立ち上がってもらった。

この時点では、完全に痛みはないようである。

胃酸を抑制したところで、食欲は目からも来る。

これを、精神力で抑えていくしかない。

このまま太り続けたら、もっと痛みは強くなるだけである。

前回よりも、もっと具体的な筋力トレーニングを指導して、終了としたが、生活改善ができるであろうか？

まだまだ心配が続く患者さんである。

## ❖ 5 : マッサージで治らなかつた肩こりを 鍼灸と整体で改善

30代 女性

小学生の頃から、肩こりが強く、マッサージを受けるようになる。

その後、月経が始まってから腰痛と、左股関節の痛みが出るようになった。

これも、マッサージで対処してもらっていたが、どんなに強くやってもらっても、一向に改善せず、鍼を受けてみようと来院。

肩こりは、左側が強く感じる。

そこを強くマッサージされているため、揉みダコができていた。

それも、男性の拳大の大きさである。

さらに、腰は、むくみと歪みが両方ともに強くある。

まず、この固いタコを吸角（吸盤で吸い上げるような道具）でほぐしながら、腰にお灸を行う。

横向きで、整体を行いながら要所で鍼を行い、動きを改善しながら歪みを正す。

仰向けで、胃腸の調子を回復させるために、手足とお腹にお灸すると、「何で胃腸がおかしいとわかったんですか？」と聞かれる。

脈から、精気不足（脈の形がはっきりしていない）であり、  
胃腸のパワー不足が感じられた。

さらに、腰部・腹部共に力が抜けている。

これは、腰回りに栄養が行きとどいていない状態。

多くは、睡眠不足が原因であるが、この方は、小学生の頃  
から症状にあまり変化がない。

ということは、疲労回復できるような胃腸の消化吸収能力  
がないと考えることができる。

上記のような説明をすると。

小さい頃から、十二指腸潰瘍や腸閉塞を起こした経験、さ

らにすぐに下痢をしてしまうことに悩んでいたらしい。そして、最近飲み会が続いていて、かなり胃腸がまいっていたということもあったようだ。

治療を終えると、深い呼吸をし、「はあ、気持ち良かったあ。」と満足げに帰って行かれた。

このように、身体のあらゆる症状は、微妙に絡み合っていることがほとんどである。

従って、現在の分業化が進む医療業界では、ますます病気は診れても、患者は診れなくなるだろう。

悲しいが、これが現実である。

## ❖ 6 : ストレスからきた腰痛の鍼灸治療

30代 男性

2～3日前から、身体を前に曲げると、腰が痛くなり来院。

原因は分からない。

まず、うつ伏せで背中を診ると、心と脾の領域が固くなっている。

この組み合わせの時は、100%ストレスが絡んでいる。

そして、脾の領域の固さには、盛り上がりも加わっている。

ということは、食べすぎ（お腹のストレス）もあるという

こと。

東洋医学で脾は、西洋医学で言われる脾臓の機能だけでなく、膵臓や胃腸全般の機能を支配している、大事な機関ととらえている。

そして、領域とは、背中に出てくる、内臓の機能異常を表す場所のことである。

背中を縦に五等分とし、上から肺、心、肝、脾、腎と診ていくのである。

この背中の反応によって、いろいろな身体の様子が理解できるのだ。

この患者さんは、心と脾に反応が表れている。



心は、精神的ストレスであり、緊張感や興奮が強くなると、  
胃や肝を同時に痛めてしまう。

胃は、脾の一部であり、この脾の領域が盛り上がり、固い  
ということは、いっぱい胃に入れているが、消化できてな  
く、まだお腹に溜まっているということがわかる。

この患者さんに、肝の反応がないということは、お酒を飲  
みすぎたり、イライラはしていないということもわかる。

これらのことから、うつ伏せと仰向けで、心と脾を整える  
ように鍼を行った。

ほとんど腰には刺激を入れてないが、立ち上がってもら  
うと、完全に楽になっている。

要は、お腹がパンパンである時は、腰も動きにくいのが普通。

その動きにくい腰を、無理に動かすことで、痛みが出たのである。

従って、お腹に溜まっているものを、流すように操作をしてあげれば、腰の負担が少なくなり、痛みもなくなるということである。

本当に身体は、単純にできていると思う。

この単純さが、科学によって複雑化させられているのが悲しい。

## ❖ 7 : 運動をすると腰痛のリスクが高くなる？

### 腰痛のお灸治療

30代 女性

半年ほど前から、度々腰痛が起こるようになる。

仕事は立ち仕事で、中腰になるのがつらいとのこと。

まず、うつ伏せで全体をチェックすると、骨盤の固さが顕著である。

特に、背骨の一番下にある、逆三角形の形をした仙骨という骨が、ガッチリと固まっている。

この仙骨は、腰痛に非常に密接な関係のある骨である。

身体を前かがみにしたり、歩いたりする時に、必ず、仙骨の両側にある仙腸関節という関節が動かなければならない。

その大事な関節が、この患者さんは固まっている。

そこで、この仙腸関節をお灸で緩めていく。

次に、横向きになってもらおうと、腰やお尻よりもむしろ、お腹の方の固さが強くなっている。

この固さも徹底的に、お灸で緩めていく。

これで、立ち上がってもらおうと、痛みはなくなっている。

どの動きを取っても大丈夫なようなので終了とした。

この方は、学生時代に体操競技をやっていた関係で、柔軟性がかなりあった。

しかし、それは競技をしていたときの話で、現在は、まったく運動をしていない。

ただ、何か月かに一度、友達とスポーツをする機会があり、その後に、腰がつかくなることが多いとのこと。

これは、体操競技に限らず、股関節を大きく動かす運動を行っていた人全てに共通する問題である。

その原因には、腸腰筋（大腰筋と腸骨筋のこと）が関係する。

股関節を大きく動かすスポーツは、必ず腸腰筋が鍛えられる。

しかし、日常生活で腸腰筋を使う機会は、ほとんど無いに等しい。

そのため、競技を離れてしばらくすると、この筋肉がだんだん固くなってくるのである。

この腸腰筋に左右差があったり、固さがひどくなると、腰痛が発症するのである。

従って、少しの間でも、股関節を動かす競技にかかわったならば、股関節の柔らかさをキープし続けなければならないのである。

固まり始めた筋肉を久し振りに運動し、活性化できた場合、少しの間は（だいたい数時間の場合が多い）、体調が良くなったような錯覚を起こす。

だが、もう少し時間が経つと（1～2日の場合が多い）、筋肉痛が出始める。

筋肉痛が全く出ない場合は、さほど問題がない（筋肉がまだ柔らかい証拠）。

しかし、少しでも筋肉痛が起きた場合、腸腰筋は思っている以上に疲労を感じている。

疲労を感じている筋肉は、かなりもろくなっているため、急激に伸ばすことを嫌う。

そのため、緊張状態をつくることが多い。

この緊張状態が起きた時に、腰が伸びなくなるとは困るので、後ろ側にある仙腸関節に固さを作り対抗するようになる。

要するに、仙腸関節が固まっている場合は、腸腰筋も固まっているということ。

そのため、仙腸関節を緩めた後、お腹側に緊張が診られたのは、この腸腰筋の固さが現れていた事になる。

また、腸腰筋が固くなっている時には、身体を丸めて横になっているか、椅子に座っている状態が楽になる。

そして、その姿勢から、急に立ち上がったたりすると、腰が



痛くなるケースも多い。

この場合も、仙腸関節が固くなることで腰痛を防ぐことができる場合があるが、仙腸関節が固まりきってしまうと、腰痛は必ず起こってしまう。

このように、腰痛には、腸腰筋と仙腸関節のバランスによって、防ぐ事も出来、腰痛の元ともなるのだ。

運動をした経験のある人は、運動を経験していない人に比べ、腸腰筋が鍛えられ、仙腸関節が動きやすくなる。

しかし、運動を止めてしまうと、この腸腰筋も仙腸関節も動く機会が少なくなり、固まる危険性が強くなってしまう。

運動している人ほど健康そうに見えるが、実はもろ刃の刃

で、一旦運動をやめてしまうと、運動を経験したことがない人より、身体が弱くなるケースが少なくない。

一生、何らかの運動を続けていけるのなら、何の問題もないが、一時の趣味として運動をするのであれば、むしろやらない方が健康体でいられるのだ。

また、運動を続ける方でも、年齢と共に、筋肉は固くなり怪我也起きやすくなる。

健康を保ちたい方は、年を重ねるごとに、運動の量を減らし、ストレッチや柔軟体操の時間を増やしていくようにするとよいだろう。

❖ 8 : 交通事故は、数年経ってから症状が現れる。

### 肩の腰の痛みに整体治療

20代 女性

何日か前から、徐々に肩と腰が痛くなる。

そして、今日は、頭を支えられないほど痛くなり、腰痛もひどくなっている。

原因は全く分からないとのこと。

まず、うつ伏せで背骨の状態を確認すると、首と腰に、異常なほど歪みがある。

完全にむち打ち状態である。

原因が分からないということは、過去に事故歴があるだろうと聞いてみると、やはり、中学生の頃、交通事故にあい、死を彷徨うほどの状態を経験している。

さらに、腰の角度から、ハイヒールでも痛めていることがわかる。

交通事故の後、半年間は、鍼と整体に通っていたとのこと。

しかし、その時に嫌な思い出があるらしく、鍼は受けたくないと言われた。

こういう方も少なくなく、過去に受けた治療方法を恐れている方が多くみられる。

そのため、整体のみで治療を進めていくことにした。

身体を動かしていくと、横隔膜と大腰筋の過緊張が診られる。

横隔膜は、最大の呼吸筋。

肋骨の下側を覆っていて、上下に動くことで肺に空気を出し入れできるようにする筋肉である。

大腰筋は、背骨の前側にある筋肉で、背骨から大腿骨（太ももの骨）の内側についてる。

この筋肉は、前かがみになったり、脚を前や上に動かすための重要な筋肉である。

この二つの筋肉が緊張しているということは、腹部にある臓器も全て冷えている状態と捉えていい。

従って、臓器がある身体の前側は、冷え固まり、背骨のある後ろ側は、むち打ち状態で炎症が起きている状態。

完全にバランス異常を起こしている。

問題は、しっかり体を温めることや休めることを怠り、ハイヒールで背骨をいじめていたことが最大の原因である。

ハイヒールによる背骨の悪影響を取り除き（要は履かないこと）、腹式呼吸をすることで、横隔膜を活性化させることが始めにやるべきこと。

こうすることで、全体の血液循環を整えることができる。

その後にも、残った背骨の異常や内臓のコントロールを調整する必要がある。

この患者さんは、整体後すぐに、スッキリ感を覚え、もう治った気でいた。

しかし、内臓の冷えは、そんなに簡単に改善するものではない。

特に交通事故を経験している以上、常に自分の身体に注意を向けておく必要があるのだ。

交通事故やスポーツ障害、むち打ち、寝違い、ぎっくり腰、背骨をボキボキ鳴らす癖があるなどで、背骨の痛みを経験されている方は、ハイヒールを履くだけで、更なる背骨の痛みが、いつどこに表れても不思議ではない。もし、ハイ

ヒールを履かざる負えない環境にある場合は、必ず身体の柔軟性を確保しておくべきである。

特に、胸郭（肋骨でおおわれている領域：要は肺のある位置）、お腹、足首、この3ヶ所は、最低でもゆるめておく必要がある。

そして、3ヶ所のうち一つでも、動きにくくなったり、冷えてきたら、痛みが出てくる秒読み段階に入っていると、自覚した方がいいだろう。

ハイヒールを履いている方、またはこれから履きたい方は、常にこれらの関節や筋肉に注意を払って、痛みなく元気でいられるように頑張りましょう。



## ❖ 9 : 歩くときに左股関節が痛くて前に踏み出せない

まず、股関節の痛みについて詳しく知りたい方はこちら

⇒[股関節の痛みの原因と対策](#)

### 股関節痛と腰痛の鍼治療

20代 女性

1週間ほど前から、座っていると左腰が痛くなる。

さらに、昨日から歩くときに左股関節が痛くて前に踏み出せない。

原因は分からないとのこと。

全体を触ってみると、左の仙腸関節が固く盛り上がっているのがわかる。

押してみると、ちょうどそこが痛くなるとのこと。

整体をしていくが、あまり可動制限はなく、どの方向へも動かせるようである。

唯一、仰向けで左足を動かしたときだけ左腰が痛む。

もう一度しっかり全体を診てみると、両足の胃経ライン（すねの外側）に鉄柱のような固さの筋肉がある。

これは、

◎緊張性のストレス

◎刺激物の摂りすぎ

◎暴飲暴食が続いている時

◎緊張性の便秘がある時

などの反応である。

思い当たるころはあるか聞いてみると、何と、先週まで9日間連続で飲み会が入っていて、睡眠もほとんどとっていないとのこと。

そこで、消化器系を整える鍼を行った後、再度脚を動かしてみると、「おっ！痛くない。」と患者さん。

かなり、ビックリしていたようであった。

暴飲暴食と睡眠不足があると、消化しきれずに胃腸の内容物が多くなりすぎ、下垂状態となる。

すると、骨盤を圧迫する形となり腰痛が始まる。

腰に負担を与えている場所に応じて、股関節や膝・足首など、いろんな所へ影響を出すのだ。

脚の神経は腰から出ているため、その出発点である腰の筋肉が硬くなったり、腰椎が傾いたりすることで、いろんな脚の症状を出すことがある。

暴飲暴食や睡眠不足には気をつけよう！

## ❖ 10：腰回りが固まって動かすと痛い

### 腰痛の鍼治療

60代 女性

2年半ほど前から通われている患者さん。

当初は、首から腕にかけての痛みとしびれがあり、腕を動かせなかった。

さらに、足の裏にもしびれ感があり、ほぼ毎週通われほぼ1年間で、症状消失。

その後、糖尿病と高血圧を持病としていることから、定期的に体調管理のためにもと、引き続き通われていた。

しかし、2ヶ月ほど前に、家族の不幸があり、ピタッと来られなくなっていた。

そして、久しぶりの来院。

来れなかった期間は、たくさんの家庭にあった残務整理に追われ、PC作業の毎日だったらしく、食事とトイレ以外は、全てPCの前にいたということ。

そのため、全身が固まり、特に腰回りは、まったく動かせないほど固まっていた。

そして、身体を無理に動かすと痛むようになってきたようだ。

まず、うつ伏せで脈を確認。

かなり固さがあり、速度が速い。

これは、血圧が上がっている証拠。

さらに、緊張が続き、精神的にも肉体的にも、固まっている状態を表している。

そこで、腰よりもむしろ、この脈を改善するための鍼を行う。

すると、どんどん脈の柔らかさが出てきた。

それに伴うように、筋肉も緩み始める。

最後にお腹の緊張も鍼で取り除くと、柔らかなやさしい脈が現れた。

この脈が現れたということは、心も身体も、呪縛から解き放たれた状態になっているということ。

実際「全身がフニャフニャになったみたい。このまま寝ていたい。」と眠そうな表情で言っていた。

このように、脈というのは、心臓や血液循環の状態だけでなく、心や身体全体を表すところである。

この診断方法がわかってくると、ほとんどの体調不良に対して、自信をもって治療に望むことができる。

本当に素晴らしい診断方法である。

この脈診と言うのは、鍼灸や漢方の世界では、重要な診断方法となっている。



しかし、難しく捉え過ぎて、なかなか脈診を臨床に使わない先生が多いようだ。

まあ、私も開業1~2年頃は、まったく脈診を使わずに臨床を送っていたからなあ・・・？（照）

ただ、脈診がわかってくると、非常に心強いものとなり、実際に自分が患者さんに行っている治療方法が正しいものなのかも教えてくれる。

そんな脈診を、初心者の方でも図解で理解できる、この本との出会いが、私の臨床に幅を持たせてくれた。

鍼灸や漢方を学んだ先生以外にも、東洋医学に興味のある方は、一度でいいから手に取っていただきたい一冊です。

[脈診 ー基礎知識と実践ガイドー](#)

# もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、  
全102ページ、販売価格1,980円

## あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを無料でプレゼントさせていただいています。  
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。  
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。  
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★どの健康情報とも全く違う視点であなたの症状を取り除く教材がそろっている：「キュアハウス健康情報館」

<http://curehouse.biz/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

株式会社キュアハウス  
キュアハウス鍼灸治療院  
院長 中村幸生